

在スロバキア日本国大使館
政治・経済月報（2018年7月）

目 次

内 政

- ◆ブラチスラバ市長選挙候補者の支持率調査結果 2
- ◆米 F-16 戦闘機購入の閣議決定 2
- ◆露バイカークラブ「夜の狼」のスロバキアにおける支部設置 2

外 政

- ◆スロバキアのV4議長国就任 3
- ◆日EU経済連携協定（EPA）署名 4

社 会

- ◆最近10年間のスロバキアの社会変化 4
- ◆スロバキアにおけるウクライナ人労働者 5

経 済

- ◆世界銀行及び欧州委員会によるビジネス環境に関する調査結果 5
- ◆EU・米国間の貿易関係合意に関するスロバキアの反応 6
- ◆スロバキア中央銀行月報（7月） 7

別添：主要経済指標

※本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

内 政

◆ブラチスラバ市長選挙候補者の支持率調査結果（10日付経済新聞）

11月10日に行われる統一市町村長・議会選挙に関し、世論調査機関Focusは、ブラチスラバ市長選挙候補者の最初の支持率調査を実施した。ブラチスラバ市長選挙には、現時点で6名が立候補を表明している。調査結果の詳細は以下のとおり。

- (1) ネスロヴナル・ブラチスラバ現市長（無所属）：30.9%
- (2) ミカ・スロバキア・ラジオ・テレビ（RTVS）前総裁（無所属）：23.6%
- (3) ムルヴァ・ヴァイノリ区長（無所属。野党SaS, OLaNO, Sme rodina推薦）：23.5%
- (4) ヴァロ氏（建築家、音楽家）（無所属。新党Progressive Slovakia及びSpolu推薦）：17.2%
- (5) リーシュコヴァー氏（経営者）（野党KDH）：4.8%
- (6) ベーレシュNAJ党首：0.0%

◆米F-16戦闘機購入の閣議決定（12日付スメ紙）

11日、老朽化した露MiG-29戦闘機に代わり、米F-16（Block 70/72）戦闘機を購入することが閣議決定された。ペレグリニ首相は、購入の第一段階として、14機のF-16、訓練、弾薬、配置のために15億9000万ユーロを支出する旨述べた。F-16の1機あたりの購入額等の詳細は公表されていないが、総額20億ユーロ以上の費用がかかると見られており、（1993年の）スロバキア独立以降最大級の軍備調達となる。F-16導入予定時期も公開されていないが、専門家は3～5年以内に最初の戦闘機が配備されることになると予測している。

野党は、国防省がF-16導入に関する他省庁からの意見聴取の期間を2日間しか設けなかったこと、国防省によるF-16評価レポートが閣議の僅か12時間前に一般公開されたことを問題視し、購入決定に至るプロセスが不透明であるとして批判している。専門家も、F-16の性能や価格を評価しつつ、同じく購入候補に挙げられていたスウェーデンのGripen戦闘機の方がF-16よりも早く配備することができる点を指摘し、今後も暫くは露MiG-29に依存し続けることに懸念を示している。

◆露バイカークラブ「夜の狼」のスロバキアにおける支部設置

【17日付プラウダ紙】

6月23日、ロシア政府の財政支援を受けている民族主義的なバイカークラブ「夜の狼」は、スロバキア西部トルナバ県のドルナー・クルパー（Dolna Krupa）

村に欧州支部を設置した。開所式には、当地露大使館の関係者も出席した。

安全保障問題の専門家のナジ氏は、「『夜の狼』は準軍事組織であり、一部のメンバーは東ウクライナ等における戦闘にも参加している。『夜の狼』の同支部における活動の目的は、ロシアのプロパガンダの拡散であり、スロバキアにとって安全保障上の脅威となっている」と指摘した。

【24日付スメ紙】

23日、国防省は、スロバキアのアマチュア準軍事組織「Slovenski Branci」を捜査するよう、最高検察庁に申し立てを行った。Slovenski Branciは、露バイカークラブ「夜の狼」のスロバキア支部の敷地内で、軍事演習を行っていた。最高検察庁は、同組織がスロバキアの安全を脅かしていないかどうか、また、不法行為を行っていないかどうか、捜査することになると見られる。

Slovenski Branciは2012年に設立され、約200人の構成員がいると見られる。同組織には、ロシアでの軍事訓練を受けた者もメンバーに含まれていることから、スロバキアの安全にとってリスクになる可能性が指摘されていた。

【31日付大統領府プレスリリース】

31日、キスカ大統領はルチャンスキー警察長官と、露バイカークラブ「夜の狼」に関し会談を行った。キスカ大統領は「『夜の狼』のメンバーは無害なバイクファンではなく、国際法に反してウクライナの一部の併合に関与したロシア政府の道具であり、スロバキア安全保障上のリスクとなる。スロバキアにおける『夜の狼』欧州支部の創設は、クリミア併合とロシア政治に対するスロバキア政府の公的な立場を嘲笑するものである」と述べた。

外 政

◆スロバキアのV4議長国就任（外務・欧州問題省プレスリリース）

7月1日、スロバキアはヴィシェグラード・グループ（V4）の5度目の議長国に就任する。議長国期間は1年間（2019年6月30日まで）で、ハンガリーの後任として就任し、1年後にチェコに引き継ぐ。我々の目標は、これら3期にわたる議長国の十分な取り組みの連続性を維持することである。

スロバキアは、地域間協力の手段及び地域の安定と良好な近隣関係のスポンサーとしてのV4の重要性を強調したいと願っている。また、スロバキアは、V4がEUと不可分であることを確認することを強く望み、スロバキアの主導により、V4はEUの将来に関する議論に積極的に参加し、EUにおけるV4が共に直面している現在の課題の解決に貢献するだろう。スロバキアは議長国として、広く受け入れられる建設的な提案と解決策を示したいと願っている。

スロバキアは議長国期間中、①強い欧州 (Strong Europe)、②安全な環境 (Secure environment)、③賢い解決 (Smart solutions) の3つの優先分野において、市民の利益となる具体的な成果をもたらしたい。「Dynamic Visegrad for Europe」のスローガンで表される通り、V4内部のダイナミクスの強化、V4の競争力及び結束の強化に重点を置く予定である。

◆日EU経済連携協定 (EPA) 署名

【スメ紙 (18日付)】

17日、日本とEUは自由貿易協定に署名した。トウスク欧州理事会議長及びユンカー欧州委員会委員長が東京において、安倍首相との署名式に出席した。同協定はEUにとって最大の貿易協定となり、6億人以上の人口を擁する自由貿易圏を創出することになる。ユンカー委員長によると、双方のGDPは、世界全体のGDPの約3分の1を占めている。

【経済新聞 (19日付)】

ライチャーク外務・欧州問題相 (第72回国連総会議長) はNYの国連本部において、「多くの年月をかけて準備された日・EU自由貿易協定が署名されたことを歓迎する。自由貿易協定の本質は貿易障壁の撤廃であり、消費者に恩恵を与え、生産者のコストを下げることになる」と述べた。

ライチャーク外相は「米国は様々な自由貿易プロジェクトから離脱したが、EUは自由貿易の方が (保護主義よりも) 将来的に良い結果を生み出すことを証明しようとしている」と述べた。

【プラウダ紙 (19日付)】

経済アナリストは、日EU経済連携協定は双方の貿易取引額を増加させるだけでなく、製品価格を下げることになり、スロバキア企業にも恩恵をもたらすと予測している。郵便銀行 (Postova Banka) のグラソヴァー氏は「同協定は、特に、日本に農産物を輸出しようとしている農業生産者にとってメリットがある。また、約200の欧州の食料品ブランドが保護されることになる。関税や様々な規制が撤廃されることから、EUの自動車産業にも貢献するので、スロバキアのように自動車産業が経済成長を牽引している国にとってメリットがある」と述べた。

社 会

◆最近10年間のスロバキアの社会変化 (19日付Dennik N紙)

スロバキアの犯罪件数は、2008年の10万5000件から2017年の

6万6000件へと大幅に減少し、検挙率は43%から59%に上昇した。自動車窃盗台数は4000台から1500台に減少している。ただし、脱税件数はここ10年で3倍に増加した。

2008年から2017年にかけて、平均賃金（月額）は720ユーロから950ユーロ、最低賃金（月額）は280ユーロから480ユーロ、年金（月額）は313ユーロから450ユーロへと、それぞれ上昇した。住宅ローンの平均利率は、6.0%から1.6%に減少した。

たばこの価格は25%上昇し、総人口に占める喫煙者数は36%から26%へと減少した。インターネットを全く利用しない人は200万人から100万人以下にまで減少した。Facebookのユーザーは120万人から220万人へと増加した。

◆スロバキアにおけるウクライナ人労働者（21日付スメ紙）

19日、ムシュカ駐スロバキア・ウクライナ大使は記者会見の中で、「現在、スロバキアでは約1万人のウクライナ人が働いており、その内約3000人が永住許可書、約7000人が一時滞在許可書を有している」と述べた。

ムシュカ大使は「スロバキアには100～200人の不法労働者がいると思われる。彼らの多くは、ポーランドの労働ビザを取得後にスロバキアへ入国しており、同ビザがスロバキア国内でも有効であると騙されている」と述べた。

経 済

◆世界銀行及び欧州委員会によるビジネス環境に関する調査結果（6日付経済新聞）

世界銀行及び欧州委員会がスロバキア、チェコ、クロアチア及びポルトガルの25都市を対象に行った、ビジネス環境に関する調査「Doing Business」によると、首都ブラチスラバよりも東スロバキアの方がビジネスを始めるのに必要な許可を早く入手できることが明らかとなった。例えば、倉庫建設許可を入手するために必要な期間は、プレショウで120日、コシツェで135日なのに対し、ブラチスラバでは170日となっている。ただし、EU平均は約50日であり、スロバキアで最も早く同許可を入手できるプレショウの半分以下となっている。

スロバキア・ビジネス連合（PAS）副会長のセリナ氏は、「ブラチスラバは東スロバキアと比べ、1～2週間ビジネス上の手続きに必要な時間が余分にかかる」と述べるとともに、行政機関の電子化の促進を提言した。

他方、同調査によると、スロバキアはポーランドに次ぎEUの中で2番目に、ビジネス環境を2003～2017年の間に最も向上させた国となっている。

◆EU・米国間の貿易関係合意に関するスロバキアの反応（26日付プラウダ紙）

25日、ユンカー欧州委員会委員長とトランプ米大統領は、ワシントンD.C.で行われた会談において、自動車以外の産業製品に対する関税、非関税障壁及び補助金の撤廃に向けて協力することで合意した。

トランプ米大統領によるEU・米国間の関税等廃止の主張は、欧州において、米国産遺伝子組み換え作物（GMO）の輸入が一層自由化される可能性を意味する。EUが輸入しているGM大豆及びGMトウモロコシは、食肉としてレストランや家庭で提供される豚等の飼料に使用されている。2006年以降、EUはGM大豆、GMトウモロコシ等、5品目約60種類のGMOの輸入を認可している。

2016年のスロバキア農業省の調査によると、スロバキア人の約5分の2がGMOは人間の健康に悪影響を及ぼすと考えている。1998年、EUはGMトウモロコシの栽培を認可したが、各加盟国に栽培を禁止する裁量が与えられており、ドイツ、ポーランド等8か国がGMトウモロコシの栽培を禁止している。スロバキアでは、2、3年前にGMトウモロコシが東部のホニコウツェ村で栽培されていたが、2017年以降は栽培されていない。スロバキア農業省のフェイク氏は、「農業省は、食品への利用を目的としたGM農産物の栽培を奨励しておらず、非組み換え作物を奨めている」と述べた。

飼料生産者、倉庫保守業者及び貿易業者組合事務局のルカーチク氏は、「スロバキアは、飼料及び配合飼料をGMO無しで自給自足できる、EUでも数少ない国である」と述べた。しかし、同氏によれば、年間3500万ユーロのGM大豆食品がスロバキアに輸入されている。EUはGM大豆の栽培を禁止しているため、これらはEU外から輸入されている。

◆スロバキア中央銀行月報（7月）

1 GDP

米中間等による新たな関税導入の危機の高まりにも拘わらず、外部環境は好ましい動向が続いている。5月のユーロ圏の鉱工業生産は急激に増加し、今年最高の月間成長率を記録した。

ユーロ圏と同様に5月のスロバキアの経済活動は活発化した。5月の鉱工業生産は、主に石油化学産業と自動車産業における生産増、電子産業における久しぶりの生産増により、前月比で0.7%、前年同期比で2.6%それぞれ増加した。

総売上は前月比で1.9%、前年同期比で4.9%それぞれ増加した。

2 労働市場

5月の雇用率は前年同期比で3.4%増加したものの、4月の伸び率（3.7%増）及び第1四半期の伸び率（4.6%増）を下回った。このような低調な雇用の伸びは労働市場の逼迫に起因しており、雇用者は新規求人の充足がますます困難になっている。

全体の求職者数に基づく6月の失業率は6.7%であった。季節調整前の全体の求職者数に基づく6月の失業率は前月と変わらず6.58%であった。第2四半期末の登録失業者数は18万5000人で、第1四半期（18万7000人）と比べ僅かに減少した。

5月の平均賃金は前年同期比で8.4%増加した。賃金の伸びは製造業が最も高く、特に自動車産業（約9%増）で上昇したほか、サービス部門（8.1%増）及び建設部門（6.0%増）でも加速した。商業部門の賃金の伸びも堅調を維持した（7.2%増）。5月の平均賃金は988.4ユーロであった。

3 物価

6月の消費者物価指数は前年同期比で2.9%、前月比では0.1%それぞれ上昇した。消費者物価指数の上昇は主に自動車燃料価格と食料品価格に起因し、特に果物価格（メロン、レモン及びブドウ）の影響が顕著であった。2018年の消費者物価指数は約2.5%と予測されている。

4 貿易

5月の商品輸出は前年同期比で7.5%、輸入は6.3%それぞれ増加した。貿易黒字は1億6700万ユーロであった。

（了）

スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

